

平成19年度第3回岐阜県事業評価監視委員会議事概要書

日 時：平成19年6月14日(木)
13:15～15:30

場 所：全建総連厚生会館(4階)大会議室

開会の挨拶(安田県土整備部技術検査課長)
議事

1 議事概要書署名委員の指名

委員長から署名委員として高木委員、三島委員、森川委員を指名。

2 再評価実施個所の詳細説明及び審議について

農業農村整備事業[農地整備課所管分]

・審議事業：県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業【神岡】

・説明者：吉田農地整備課長

【審議内容】

Q. 事業期間が、平成3年度～平成24年度となっており、すいぶん長いと感じます。トンネルがあるからですか。事業期間が長い理由を教えてください。

A. 住民参加の姿勢で事業に取り組んでいましたが、用地の問題があり、事業が長期化してしまいました。なお、現在では用地の問題は全て解決しています。

Q. コスト縮減の取組事例として、トンネル施工時に支保工に使用するロックボルトの本数を13本から11本に減らし、約4億円縮減したと説明されていましたが、トンネルの強度は大丈夫ですか。素人に分かる説明をして下さい。

A. この工法は、JH(日本道路公団)が開発し、現在では多くの施工実績があります。

また、ロックボルトの本数を減らすこと等により施工に掛かる時間を短縮することからコスト縮減を実現しています。

Q. この地区では、この事業に着手した平成3年度と比べ、農業に従事している方の人数は減っていますか。それとも増えていますか。

A. この地域では、農業生産額は増えており、事業着手時に比べ農業が衰退しているということはありません。

Q. 農業生産額を数値で教えてください。

A. 事業着手時に比べ、約20%UPしています。

ちなみに、岐阜県全体の農業生産額はピーク時には、1,400～1,500億程度ありましたが、現在では約1,200億円となっており、総じて減少していますが、主要な産地では、着実に農業が継承され、生産額も増加してきています。

Q. 農業をブランド化し、商品価値をあげている産地がありますが、この地区はどうですか。

A. この地区は、飛騨ブランドを形成する産地の一角であり、飛騨のほうれん草の産地となっています。

Q. 一般交通の距離の短縮や、速度向上等の便益により、B/C(費用対便益)が1.5となっていると説明をされていましたが、この道路の計画交通量を教えてください。

A. 計画交通量は、3,200台/日を想定しています。

Q. B/C(費用対便益)を算定する期間を教えてください。

A. 49年です。

- Q . 49年はなにに基づいた期間ですか。49年というのは中途半端な期間だと感じます。
- A . この事業で整備する施設の耐用年数を総合的に考慮して算定しています。農道を作る場合、土で作る部分とトンネル部分では耐用年数が異なりますので、そういったことを考慮し、当該事業では49年という期間を算定しました。
- Q . この地域で生産された農産物は、こういった経路で出荷されているのですか。また、この事業により、どの様に出荷経路が変化するのですか。
- A . (パワーポイントを示し、現在と事業完了後の経路を説明)
- Q . 事業位置図で黒線で示されている区間は、現道を活用するというのですか。
- A . 農道の計画路線ではありますが、現道及び、国土交通省が所管する事業で整備した区間です。他の事業とも協力してこの区間の整備を進めています。
- Q . 事業位置図で黒線で示されている区間の整備は済んでいるのですか。
- A . 整備は完了しています。

農業農村整備事業 [農地整備課所管分]

- ・ 審議事業：県営市町村合併支援農道整備事業【大峠】
- ・ 説明者：吉田農地整備課長

【審議内容】

- Q . この道路の日交通量を教えてください。
- A . 約780台/日です。
- Q . 先ほど説明を受けた事業の日交通量の1/4以下で、何故これほどのB/C(費用対便益)が見込めるのですか。走行短縮距離等を考慮してもそれほど便益が出るとは考えられません。理由を教えてください。
- A . この事業では、グリーンツーリズム等、都市交流にかかる地域間交流促進効果、あるいは多面的機能向上効果等による便益も見込んでいるためです。パワーポイントでは代表的な項目を示しています。
- Q . トンネルの縦断勾配が6%とかなりの急ですが、どの様な交通安全対策をとる予定ですか。
- A . 走行速度を注意喚起する標識・看板の設置、走行速度が早くなならないよう路面に凹凸を付けるなど、出来る安全対策は全て実施しようと考えています。
- Q . 設計速度を教えてください。
- A . 30km/hです。
- Q . 写真で見ると立派な道路ですので、本当に利用者が30km/hを守ってくれるか心配です。この規格にすることにより、どの程度コスト縮減が図れたのですか。
- A . トンネル延長が600m短くなり、事業費ベースで8億程度コスト縮減が出来ました。
- なお、6%という縦断勾配を設定するにあたり、恵那市内の同勾配のトンネルを、全員ではありませんが地域の方にも走行して頂き、合意を得ました。
- Q . 道路の設計速度を下げることにより、時間短縮便益も下がるとは思いますが、それについては検討しましたか。
- A . はい。

農業農村整備事業〔農地整備課所管分〕

- ・ 審議事業：県営ふるさと農道緊急整備事業【岐阜・関】
- ・ 説明者：吉田農地整備課長

【審議内容】

Q．この農道事業は、宮前大橋を建設するだけでよかったですのではないですか。

A．宮前大橋建設により、岐阜市と関市の集落間の交流に寄与することが出来ます。

しかし、我々としては、広域的な農業生産、物流の面から、当該農道の整備が必要であると考えました。（パワーポイントで主要な農業施設の位置や物流の流れを説明）

道路事業〔道路建設課所管分〕

- ・ 審議事業：住宅市街地基盤整備事業【（一）肥田下石線（土岐津）】
地方道路臨時交付金事業（地方道路整備臨時交付金）【（一）肥田下石線（下石）】
- ・ 説明者：山本道路建設課長

【審議内容】

Q．再評価実施箇所図（附図）に、計画中区間として記載してある区間がありますが、当該事業との関係を教えてください。

A．この道路の全体構想としては、当該道路と計画中区間を整備することにより、多治見、土岐市内で慢性化している渋滞を解消するため、国道19号を補完するバイパス的な道路整備を行いたいと考えています。

しかし、それを実現するには膨大な事業費が必要なため、開発地域やインターチェンジが近傍にあり、事業効果の高い当該道路（区間）を早急に完成させたいと考えています。

Q．供用開始は、いつ頃を予定していますか。

A．土岐多治見南インター線から多治見側の供用を、平成23年度頃までに先行して行いたいと考えています。

Q．当該道路と、多治見市側の現道との取り付けの線形が、パワーポイントではループ状になっている様に見えますが、ここの形状等を教えてください。

A．全体構想では計画中区間も含めて直線で計画しています。しかし、当該事業の終点と現道との取り付け部については、ランプウェイ（立体交差道路などで、高さの違う道路を連絡するための傾斜路）形式で考えています。

道路事業〔道路建設課所管分〕

- ・ 審議事業：地域連携推進事業（道路改築事業）【国道418号（丸山バypass）】
- ・ 説明者：山本道路建設課長

【審議内容】

Q．事業の進捗状況を教えてください。

A．新旅足橋建設が事業の進捗に大きな影響を与えていますが、新旅足橋が順調に完成すれば、平成21年度頃に一部供用を開始出来ると思います。

Q．国が実施する新丸山ダムの建設により水没する道路の付け替え工事を、何故、県が実施するのですか。国が行うべきではないでしょうか。

A．ダム建設にともなう付け替え工事として整備する場合、現在ある道路の規格で整備することになります。しかし、現道の幅員は狭いため、県としては、県の予算も投入し、幅員の広い道路を整備したいと考えました。

Q．当該事業には、国のダム関連の事業費も使われているとのことですが、アロケーションはしているのですか。

A．はい、所定の計算方法に基づき計算しています。内訳は概ね、ダム付け

替え工事分が3 / 4となっています。

Q . 当該事業は、地域の交流・活性化に寄与するとの説明がありましたが、この事業で交流施設等の建設を行うのですか。

A . 当該事業では、交流施設等の建設は行いません。

この道路は、恵那市と美濃加茂市方面を最短ルートで結ぶ道路になりますので、産業道路として広域的な効果を期待しています。また、観光道路としての効果も期待出来ます。

Q . 計画交通量を教えてください。

A . 約4 , 3 0 0台 / 日を想定しています。

Q . 以前、現地をみせて頂きましたが、大変地形条件が悪いと感じました。完成した道路は、安全に通行出来るのですか。

A . 安全対策の施設を整備し、安全に通行出来るようにします。

3 審議結果のとりまとめ

本日審議した6件については、事業主体の対応方針の案を了承する。

なお、事業の早期完了に努めるとともに、事業効果を年度単位で発現出来るよう努めて頂きたい。

【農業農村整備事業】

県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業【神岡】

継 続

県営市町村合併支援農道整備事業【大峠】

継 続

県営ふるさと農道緊急整備事業【岐阜・関】

継 続

【道路事業】

住宅市街地基礎盤整備事業【(一)肥田下石線(土岐津)】

継 続

地方道路臨時交付金事業(地方道路整備臨時交付金)【(一)肥田下石線(下石)】

継 続

地域連携推進事業(道路改築事業)【国道418号(丸山バypass)】

継 続

閉会の挨拶(安田技術検査課長)

委員会の様子

